



# 学校だより

1月号

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康な生徒

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる  
さしのべる 生きている」

令和4年1月14日

大田区立糀谷中学校

校長 小島 宏一郎

## 「節を作る」

1/11 3学期始業式講話より

校長 小島宏一郎

明けましておめでとうございます。

2022年、今年は寅年です。寅は十二支の三番目で、最初の子年に蒔いた種が、丑年に芽を出しはじめ、寅年は根や茎が成長する時期、草木が伸び始める時期だと言われています。また、うかんむりの「寅」という漢字は、「つつしむ」「間違いなく慎重に物事を進める」という意味をもつようです。間違いのないよう、慎重さをもちながらも、春の草木のように大きく成長する年にしていきましょう。

さて、今日は「節目」の話をする。昔から縁起の良い植物とされ、お正月の門松にも使われている竹は、細く弱々しく見えますが、大木を倒してしまうような強風にも負けず、その身をしならせることはあっても折れることはありません。その秘密は、竹の節にあります。竹は20cmほど伸びては節を作り、また伸びては節を作り成長していきます。節のないところは空洞で成長も早いのですが、しなやかで強い竹になるためには時間をかけてしっかりした節を作らなくてはなりません。

人間の成長にも節が必要です。節を作る時が「節目」です。入学、卒業、就職、結婚は人生の大きな「節目」です。1学期、2学期、3学期の区切りは学校生活の「節目」です。節目節目に、自分の生活を振り返り、目標を立ててしっかりとした節を作ることが、次の成長に繋がります。

「節目」といえば、昨日は成人の日でした。コロナの感染に気を付けながらも多くの地域で成人式が開催されました。この4月からは成人年齢が18歳になりますが、成人式は20歳の人を対象に行われています。

今から11年前の東日本大震災で大きな被害にあった岩手、宮城、福島県の各地でも成人式が行われました。当時、小学校3年生だった被災地の新成人の皆さんの話から、いくつか紹介します。

岩手県陸前高田市と大船渡市の成人式には、ロッテの佐々木朗希選手が出席しました。佐々木選手は、陸前高田市で生まれ育ち、小学校3年で野球を始めました。東日本大震災の津波で父と祖父母を失い実家も流され、4年生で大船渡市に移り住みました。佐々木選手にとって陸前高田市と大船渡市は、高校卒業までちょうど半分ずつ生活をした大切な場

所です。開始時刻がずれていたため、どちらの式典にも参加できなかった佐々木選手は、「この日を健康に迎えることができうれしいです。これから、日々精進して成長していきたいと思います」とコメントを残しました。

2人目は、福島県浪江町出身の斉藤希歩(のぞむ)さんです。浪江町は、福島第1原発事故で全町避難を余儀なくされ、21,000人の町民は全国に散り散りになりました。成人式に出席できたのは、新成人211人のうち46人で、斉藤さんも今は川崎市の大学で映画の脚本の勉強をしています。斉藤さんは新成人代表として「新しい日常の中でも浪江を忘れたことは決してない。あの日を忘れることが本当の復興なのか。震災を過去のものにしないことが私たちの義務ではないでしょうか。」と挨拶しました。斉藤さんの将来の夢は、浪江のことを伝えるドラマを作ることだそうです。

最後は、宮城県気仙沼市出身の千葉瑛太さんです。千葉さんは、震災で母や妹ら家族5人を失いました。千葉さんの父親の清英さんが、震災後に気仙沼にバッティングセンターを作り、親子はメディアにも取り上げられました。千葉さんは、今は進路を留学か起業かで迷っているようですが、気仙沼市の式典に出席し「仲間との再会が今後の原動力になる。今を全力で生きたい。」と話していました。千葉さんがツイッターでこんなことをつぶやいています。「『二つの選択肢があって、どちらを選ぶべきか』決断したあとに、あっちの方が良かったかもしれない、と不安になることあるよね。でも、選んだ先で何が起こるかなんて誰も知らないよ。だから、“選択”はそんなに重要じゃなくて、選んだ道を自分で正解にする行動力と意志の強さの方がよっぽど大切だと思うんだ。」

3人の話から、前に進む力強さを感じました。

2022年が始まりました。新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が広がり、第6波が始まったといわれています。重症化はしにくいといわれていますが、感染力がとて強いようです。これまで通り、手洗いと消毒、マスクの着用、部屋の換気を心掛け、感染予防にしっかりと取り組んでいしましょう。良い年にありますように、心から祈っています。



### 生徒の活躍の記録から

【バレーボール部】  
第15回クリスマス・カップ  
イルミネーションリーグ  
優勝

**祝** 夢の舞台で大活躍 ダブルダッチ世界大会から凱旋

昨年12月5日に、ニューヨーク、アポロシアターで開催されたダブルダッチの国際大会「NDDLホリデークラシック」に出場した本校の生徒6名（1年生4名（NOAH）、2年生2名（No Logic））が大会を終えて戻ってきました。NOAHはNOVICE部門で見事優勝。No Logicの成績はADVANCED部門で7位でしたが、中2～高3までのクラスでの世界7位ですから、大変な快挙です。おめでとうございます。

### 防災とボランティア週間、全国学校給食週間 教育の国際デー、文化財防火デー 1月の行事予定

昨年末から、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が急激に広がり始めています。学校では引き続き、手洗い・うがい・換気などの感染予防対策の徹底に努めます。また、ご家庭でも、十分な睡眠・適度な運動・バランスのとれた食事を心がけ、疾病に対する抵抗力を高められように、お子さんに御指導をお願いします。

日	曜日	予定	日	曜日	予定
11	火	始業式、安全指導、職員会議	22	土	私立推薦入試、土曜補習教室
12	水	専門委員会、都立推薦出願始	23	日	私立推薦入試
13	木	生徒評議会	24	月	学年朝礼
14	金	英検(1, 2年)	25	火	校内研修 6カット
15	土	ものづくり教育学習フォーラム	26	水	都立推薦入試、職員会議
16	日	新入生標準服等出張販売日	27	木	都立推薦入試
17	月	生徒会朝礼	28	金	1年生社会科見学
18	火		29	土	漢検
19	水	校内研修 5カット	30	日	
20	木		31	月	全校朝礼、都立一般出願始
21	金	避難訓練	※今後の感染状況によって予定の変更もございます。		

#### 文部科学大臣からのメッセージ 保護者や学校関係者等のみなさまへ

冬休み明けには、児童生徒等の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子供たちが増えることが考えられます。

- ・これまでに関心があった事柄に対して興味を失う
- ・成績が急に落ちる
- ・注意が集中できなくなる
- ・身だしなみを気にしなくなる
- ・健康管理や自己管理がおろそかになる
- ・不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える



保護者や学校関係者、地域のみなさまにおかれましては、こうした子供の態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただき、子供たちの不安や悩みの声に耳を傾けていただくとともに、学校、家庭、地域、関係機関等で緊密な連携体制を築いていただきますようお願いいたします。

令和4年1月  
文部科学大臣 末松 信介

電話やメール、ネット等の相談窓口（リンク先に相談窓口一覧があります。）

24時間子供OSダイヤル（通話料無料）  
0120-0-78310



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm)